平成２３年度 第２回 新潟市地域包括支援センター運営協議会　議事概要

日　時：平成２３年８月４日（木）午後３時１５分～
場　所：新潟市役所本館６階　第３委員会室

（出席委員（五十音順））

井上ひろみ委員　岩橋康夫委員　内山豊年委員　上村和雄委員
木南直之副会長　齋藤忠雄会長　高橋フミエ委員　土田孝子委員
樋熊紀雄委員　細道奈穂子委員　堀田利雄委員　真壁泰子委員
簗取多喜子委員　山田豊委員

（事務局）

○介護保険課関係者　：　佐藤昌弘課長　吉田雅夫課長補佐　相馬道雄係長
高橋明彦係長　井越修主査
○高齢者支援課関係者：　佐藤敏宏課長　五十嵐雅樹課長補佐　星正文地域支援室長
藤野政夫係長　星野千恵子係長

１　開　会

○　欠席は石原美由紀委員、川崎竜彦委員、川瀬裕委員、鈴木利幸委員、高橋勝太郎委員、藤田一隆委員。

○　会議録の作成、会議の公開について承認あり。

２　議　事

（齋藤会長）

では、運営協議会を進めさせていただきます。議事（１）「平成 24 年度以降地域包括支援センター委託法人の選定について」、事務局から説明をお願いします。

（佐藤高齢者支援課長）

私から、平成 24 年度以降の地域包括支援センター委託法人の選定についてということで、ご説明をさせていただきます。資料１をご覧いただきたいと思います。

地域包括支援センターにつきましては、平成 18 年度の介護保険制度の改正によりまして、地域の高齢者の心身の健康の保持、生活安定のために必要な支援を行うために、また地域や関係機関とのネットワークを構築して、地域住民のさまざまなニーズにこたえることができる高齢者福祉の地域の拠点になることを目指して、日常生活圏域ごとに設置がさ

れております。本市では、適切な事業実施が期待できる法人へ、民間法人になりますが、事業委託方式といって設置運営を行っております。今年度、業務委託期間の最終年度になりますので、来年、平成 24 年度以降、委託方針の選定の考え方につきまして、説明をさせていただきます。

まず、これまでの委託の方針についてでございますが、制度発足当初の平成 18 年度から平成 20 年度、３期計画の間になりますが、公募により選定した法人へ業務委託をしてきたという経緯でございます。また、第４期計画年度、平成 21 年度から平成 23 年度、現在の業務委託についてでございますが、この時は各圏域における高齢者やその家族に対する見守りなど、支援の継続性の担保、これまで構築してきた地域の関係機関とのネットワークなどの実績を損なうことのないよう、業務評価などで適正に運営を行っていることが認められることを条件といたしまして、委託の意向のある法人については継続して業務を行って委託すると。また、継続して受託の意向のない法人の圏域につきましては、公募により委託法人を選定するということといたしまして、継続して受託の意向のなかった二つの圏域につきましては、平成 20 年度に公募をいたしまして、その他 24 圏域につきましては、運営実績を評価して継続して運営を委託しております。

平成 24 年度以降の委託の方針についてでございますが、資料１の２のところに記載がございますが、各圏域の地域包括支援センターでは、制度発足からこれまで地域や関係機関との連携を深めながら地域高齢者の総合相談窓口として、さまざまな実績を着実に重ね、地域に定着していること、また、平成 20 年度から毎年度実施しておりますセンターの業務評価、こちらにおいて全事業所が基準以上の評価となっています。次期計画で求められております地域包括ケアを支える拠点としてのセンターの役割を強化していくためには、地域や関係機関との継続した取り組みが必要であるということから、こちら委託方針案に記載がございますように、前回、平成 21 年度から平成 23 年度と同様に、評価により運営内容が良好と確認でき、継続して受託を希望する場合につきましては、これまでの法人を委託法人として選定いたしまして、また継続を希望しない法人の圏域、また評価が基準以下になっているところの圏域につきましては、発足当初と同様に、公募により選定することとしたいと考えております。委託の期間につきましては、事業計画ごとに節目に大きな変更がございますので、それを踏まえまして、この５期期間中の３年間としたいと。あわせて７期計画策定時には、またこの方針につきましては、見直しをさせていただきたいと考えております。

今後の進め方につきましては、今月中に各法人のほうに継続の意向の確認を行いまして、次回の運営協議会で報告をさせていただきます。

また、継続して受託を希望しない法人の圏域につきましては、円滑な引き継ぎができますように、適切な引き継ぎに対する期間を取りたいということで、速やかに公募が実施できますように、もしそういう圏域があったら、早めにこちらに公募についての内容、公募

の要領等の説明を提案させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。このような形で、なるべく早めに委託の方針を決定して、作業を進めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

（齋藤会長）
　ありがとうございました。何かご質問等はございますでしょうか。

（真壁委員）
　すべての事業所が基準以上の評価となっていたということで、以前いただいた会議のときの資料で、評価の高低がけっこう差があったと思いますけれども、低い事業所さんの圏域のところも、一応、基準以上だったということで、また公募はしない方針ということでよろしかったでしょうか？

（佐藤高齢者支援課長）
　はいそうです。評価が高いところと低いところ、確かに差があったのですが、標準と考える基準については、最低のところでも上回っておりました。今後も継続した取り組みが必要ということで、今回は、事業者さんのほうで継続の意向があれば、来年以降３年間につきましても、更新をしたいと考えております。

（齋藤会長）
　ほかに何かございますか。それでは、議題（１）はこれでよろしいでしょうか。ありがとうございました。
　では、事務局からその他、もし何かございましたら、お願いします。

（事務局）
　ございません。

（齋藤会長）
　それでは、この後の進行は事務局にお返しいたします。

３　閉　会